

		自 己 評 価			
		評価項目と具体的取組	評価指標	達成度判断基準	備考
① 組織的な 学校運営	<人材育成>		【成果指標】	職員の学校運営への参画意識	担当者：教頭
	主任等を中心に、教員の専門性と同僚性を活かし、協働する学校作りをめざす。	主任等のリーダーシップのもとで、各分掌が組織的に運営されている。		A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	評価方法：教職員アンケート
	<いじめ・不登校対応>		【努力目標】	未然防止策の実施、組織的な問題対応	担当者：生徒指導主事
	教員個々の安全意識や危機管理能力を高め、いじめ等に組織的に迅速的確に対応する。	いじめ基本方針に基づき、未然防止、早期発見し、問題等には適切な対応ができています。		A：迅速的確に対応が行われている。 B：対応している。 C：対応に問題がある。 D：対応できていない。	評価方法：教職員アンケート 児童アンケート 実施期間：7月 12月
② 確かな学力の 育成	<教師の指導力の向上>		【成果指標】	教師の研修・研究への意欲	担当者：研究主任
	教員研修と学校研究を充実により、教師の人間力・授業力の向上を図る。 【学びの指針11条】	意欲的に研修や研究に取り組み、自己の授業力や指導力の向上につなげている。		A：「学びの集団」になっている B：研修や研究への意欲が高い C：研修や研究への意欲はある D：意欲が低く向上が見られない	評価方法：教職員アンケート 実施期間：7月 12月
	<「わかる・できる」授業>		【満足度指標】	児童の授業への満足度	担当者：研究主任
	ねらいを明確にした「わかる・できる」授業で児童に学ぶ楽しさと成就感を与える。 【学びの指針1・3・6条】	「わかった」「できた」と達成感や成就感を感じる授業作りが推進されている。		A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	評価方法：児童アンケート 実施期間：7月 12月
	<学力向上>		【努力指標】	問題や弱点の把握と解決の授業実践	担当者：教務主任
	学力調査の分析結果を共通理解し、適切な対応に迅速に取り組む、学力向上をめざす。 【学びの指針11条】	全教職員で問題を把握した上で、本校児童の弱点補強策を学校全体の課題として取り組んでいる。		A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	評価方法：教職員アンケート 実施期間：7月 12月
<読書活動の推進>		【成果指標】	月8冊以上読書する児童数	担当者：研究主任	
各教科・領域等と関連した読書活動を工夫改善し、児童に望ましい読書習慣を確立する。 【学びの指針8条】	一人の児童の一月の読書量が8冊を超え、市の読書目標年間100冊達成されている		A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	評価方法：学年別・全校貸出冊数 実施期間：毎月	
③ 豊かな人間性 の育成	<親和的な集団づくり>		【満足度指標】	児童の学校・学級での満足度	担当者：生徒指導主事
	特別活動・児童会活動・委員会活動・クラブ活動等を充実し、自尊感情を高め、親和的な集団作りを推進する。	親和的な学級作りが進み、共感的な人間関係が醸成されている。		A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	評価方法：児童アンケート 実施期間：7月 12月
	<道徳教育の推進>		【努力指標】	別様に基づく授業実践率	担当者：道徳教育推進教師
	道徳の時間を充実させ、豊かな体験活動とつなげることで、心に響く道徳教育を推進する。	道徳教育年間指導計画（別様）に基づき、計画的に授業実践が行われている。		A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	評価方法：教職員アンケート 実施期間：7月 12月
	<情報モラル教育の推進>		【成果指標】	年間計画に基づく授業実践率	担当者：情報担当
情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を、教育活動全体の中で学ぶ。	情報教育指導計画にもとづき、計画的に授業実践が行われている。		A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	評価方法：教職員アンケート 実施期間：7月 12月	
④ 健やかな体の 育成	<よりよい生活習慣の確立>		【満足度指標】	児童の健康や生活への意識	担当者：保健主事
	児童自身が健康や生活に関心を持ち、よりよい生活習慣や食生活づくりを推進する。 【学びの指針7条】	「生活チェックカード」等に取り組み、児童の自己管理能力を高める。		A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	評価方法：児童アンケート 実施期間：7月 12月
	<体力の向上>		【努力指標】	課題に基づく授業の創意工夫	担当者：保健主事
体育授業や生涯スポーツの工夫改善で、体育指導の充実を、体力の向上をめざす。	体力テスト結果をもとに、本校の児童の課題解決のための指導を工夫している。		A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	評価方法：教職員アンケート 実施期間：7月 12月	
⑤ 家庭・地域との 連携	<学校からの情報発信>		【満足度指標】	保護者の満足度	担当者：情報担当
	各種便りやホームページで積極的に保護者や地域に情報発信し、学校教育への参画を進める。 【学びの指針9・12条】	各種便りやホームページでの情報をもとに家庭でのコミュニケーションが増え、児童の学校生活がわかる。		A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	評価方法：保護者アンケート 実施期間：7月 12月
	<郷土愛の育成>		【満足度指標】	児童の地域の方への感謝の割合	担当者：教務主任
	地域人材の活用と、ふるさと学習の推進、地域行事への積極的参加を促し、郷土愛の育成に努める。 【学びの指針10条】	「今江小学校」や「ふるさと今江町」を誇りに感じている。		A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	評価方法：児童アンケート 実施期間：7月 12月
<家庭学習の習慣化>		【満足度指標】	学年に応じた家庭学習達成者の割合	担当者：研究主任	
家庭学習の習慣化を、保護者と共通の目標を持って達成のために連携をする。 【学びの指針7条】	基本的な生活習慣が確立し、家庭学習が習慣化している。		A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	評価方法：家庭学習の振り返り (児童・保護者) 実施期間：5月 10月 1月	